

2.9ヶ月の年末手当回答に対して 再申し入れ

11月5日、会社は、2010年度年末手当第3回団体交渉で、
昨年の年末手当と同じ月数の回答(2.9ヶ月)をしました。年
間では0.15ヶ月のマイナスです。

会社はその理由を、今後の景気や経済の動向に不安がある
としています。

しかし、社員が苦労や努力をした結果として昨年よりも増
収増益した。大手企業も昨年よりプラスの意向にあることか
ら、経済もどん底から這い上がり傾向にある。高速道路値下
げ政策が不透明なことや羽田空港拡張の影響はマイナスばか
りでないこと。まして、社員の手当は抑えておいて、役員報
酬は激増、株主配当も変動なし、見通しの分からないリニア
構想には莫大な資金を投入していることなど、今年度の年末
手当が昨年を上回らない要素など何もありません。

にもかかわらず会社が昨年と同じ月数しか支給しないとい
うことは、頑張っ業績を上げた社員の気持ちなど何も考え
ていないということです。

本部はこのような会社の姿勢を許さず、誠意のない2.9ヶ
月回答に対して再申し入れを行いました。

皆さん、最後まで諦めず、

3.2ヶ月満額獲得に向けて共に闘いましょう！

高額な役員報酬を削減し、
社員の苦労や努力に報いろ！